

社会構築主義の視点と臨床の現場

—Vivien Burr教授をお招きして—

プログラム :

13:00-13:05 企画趣旨
能智正博 (東京大学大学院教育学研究科)

第Ⅰ部 社会構築主義の展開

13:05-14:30 社会構築主義と心理学
Vivien Burr (Huddersfield大学心理学部)

第Ⅱ部 臨床実践の現場から——「リカバリー」と「主体性」

14:30-14:40 臨床実践を社会的構築主義的視点でみる意義
能智正博 (東京大学大学院教育学研究科)

14:40-15:05 統合失調症を経験した人たちにとっての「リカバリー」
金原明子 (東京大学大学院医学系研究科)

15:05-15:30 ホームレス状態からの回復と主体性
熊倉陽介 (東京大学大学院医学系研究科)

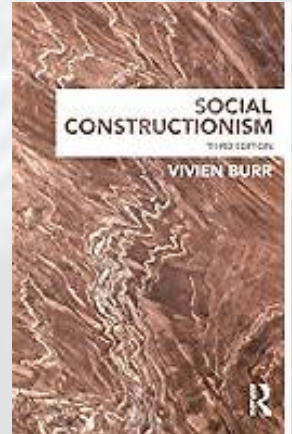
第Ⅲ部 議論：社会構築主義の可能性

15:45-16:00 現象学的心理学の立場から
田中彰吾 (東海大学現代教養センター)

16:00-16:15 文化心理学の立場から
田島充士 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院)

16:15-16:30 ディスコース心理学の立場から
大橋靖史 (淑徳大学総合福祉学部)

16:30-17:15 Burr教授からの回答と討論
Vivien Burr (Huddersfield大学心理学部)



日時：2018年3月21日 (水) 13:00~17:15

場所：東京大学本郷キャンパス 福武ホール

定員：180名

使用言語：日本語・英語 (通訳付き)

参加費：無料



参加登録が必要です。
下記URLから参加登録をお願い致します。



https://docs.google.com/forms/d/1NKyijK0YLKnFpN7nMOLd6m_35cyHJ6RYXwRfNg3y94

主催：文部科学省 新学術領域研究「脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発展学」

後援：日本質的心理学会